

(様式5) 事後評価総括表

番号	事業名	市町村名	ふりがな 箇所名	事業概要				評価結果					部(課)の取組方針		担当課	
				事業目的	事業内容	事業期間	全体事業費 (千円)	費用 対効果	① 事業 効果 の 発 現 状 況	② 自然 環 境 等 の 変 化	③ 施 設 の 維 持 管 理 状 況	④ 地 域 住 民 等 の 評 価	⑤ 地 域 社 会 へ の 貢 献 状 況	【評価の視点】 ①事業効果の発現状況 (直接的効果、間接的効果) ②事業実施による 自然環境・生活環境等の変化 ③施設の維持管理状況 ④地域住民等の評価 ⑤事業の主たる目的以外での 地域社会への貢献状況		今後の取り組み及び同種事業への活用と課題
					上段:当初	上段:当初	上段:当初	上段:当初								
1	急傾斜地崩壊対策等	松本市	みやび宮瀬	斜面の崩壊防止工事に より民生の安定・安全を 図る	擁壁工L=243m 法枠工 A=7120m <sup>2</sup>	H11~H18	450,000	—	B	B	B	A	B	①ハードとソフト対策により、地域の安全確保と土砂災害に対する地域住民の意識の向上、災害に強い地域づくりを推進した。 ②環境への大きな被害はない。 ③適切に実施している。 ④事業に対する高い評価をいただいている。 ⑤斜面対策を行うことで災害に強い地域づくりに貢献している。	近年、集中豪雨による土砂災害が多発する中、同事業の必要性が、住民から認知されている。今後も災害に強い地域づくり推進するため、ハード・ソフト両面から土砂災害対策を進める必要がある。	砂防課
					擁壁工L=63m 法留柵工L=30m 法枠工 A=5270m <sup>2</sup>	H11~H20	269,000	—								
2	県営ため池等整備	伊那市	かなみ河南	昭和34年に築造された幹線水路12.7kmの内、伊那市高遠町勝間の集落道路下の暗渠区間267mは、暗渠の劣化破損が著しく、頂版部の一部陥没、水路壁劣化による漏水があり、生活への影響が大きいため、本事業により改修を実施し、農業用水の安定供給と民生の安定を図る。	BOXカルバート L=129m 防水防食塗布工 L=138m	H17~H19	63,000	1.8	B	A	B	A	B	①集落道路下の暗渠改修により、通行の安全が確保され、見回り等の維持管理が軽減された。 ②開削による地表環境への影響が大きい区間は製管工法による補強工を採用した。 ③春の通水前に土地改良区が異常箇所を点検、通水期間も定期的な点検・管理を行っている。 ④集落内の道路の陥没、漏水による斜面崩壊の危険性が無くなり評価されている。 ⑤近接する薬師堂のしだれ桜に多数の観光客が訪れるが、暗渠改修により道路陥没による通行制限が解消されたため、積極的な観光客誘致が可能となった。	本地区と同年代に築造された他の水路でも類似の劣化、破損が多数確認されており、暗渠の道路埋設部の陥没、漏水による土砂災害への対応が必要となる。 一部区間で地上施設への影響を考慮し、製管工法による暗渠内部の補強を実施したが、通水断面が狭小するため、次回更新は同工法では通水量の確保が困難となる恐れがある。	農地整備課
					BOXカルバート L=196m BOX更正工 L=71m	H17~H20	93,184	1.3								
3	山地治山	伊那市	うちのかや内の萱	平成16年台風23号災害によって、流域内の各所で土石流が発生し、住宅や県道、キャンプ場等、広範な区域に甚大な被害が発生した。  渓流内には大量の不安定土砂が堆積しており、次期降雨による再度災害の発生が危惧されたため、谷止工や流路工、森林整備等を施工し、土砂災害の早期復旧と未然防止を図ることとした。	溪間工 谷止工 4個 床固工 5個 流路工 170m 護岸工 200m 森林整備 56ha	H18~H20	328,000	6.4	B	B	B	A	B	①対策工事の実施により、渓流に堆積していた大量の不安定土砂が安定化し、流路工や護岸工の施工により、流路や山脚が固定され、土砂災害の再発の危険性が低減した。 また、地域の安全・安心な生活環境の保全や、流域の自然環境の維持向上に寄与している。  ② 常水のある自然渓流に横断構造物や流路工等を施工したことにより、渓流の連続性の分断や、自然護岸が失われ、水生生物の生息環境に影響を及ぼすこととなった。 不安定堆積土砂が固定され、渓流が安定化したことにより、流域の清浄な水環境の改善に寄与した。また、森林整備により、森林の持つ様々な環境保全機能の増進が図られ、流域の自然環境の維持向上に寄与し、地域住民からも評価されている。  ④ 地元区長からは、災害防止の観点から、工事の必要性、重要性の評価は高く、事業の実施結果にも満足しており、土砂災害の復旧や森林整備の実施に伴い、自然環境の状況が良くなったとの評価も得られた。 また、当該地区では現在も、他所管の砂防や道路工事が継続して実施されているが、受注業者の地域の安全に配慮した施工について、高く評価されている。	災害に強い地域づくりを進めるため、流域内の森林現況や荒廃状況、過去の防災対策の履歴や発現効果等を正確に把握、検証した上で、長期的視点に立った、効果的な流域防災対策を検討していく必要がある。	森林づくり推進課
					溪間工 谷止工 3個 床固工 5個 流路工 190m 護岸工 170m 森林整備 30ha	H18~H20	231,564	6.8								

(様式5) 事後評価総括表

番号	事業名	市町村名	ふりがな 箇所名	事業概要				評価結果					部(課)の取組方針		担当課	
				事業目的	事業内容	事業期間	全体事業費 (千円)	費用 対効果	①事業 効果 の発現 状況	②自然 環境 等の変 化	③施設 の維持 管理状 況	④地域 住民等 の評価	⑤地域 社会へ の貢献 状況	【評価の視点】 ①事業効果の発現状況 (直接的効果、間接的効果) ②事業実施による 自然環境・生活環境等の変化 ③施設の維持管理状況 ④地域住民等の評価 ⑤事業の主たる目的以外での 地域社会への貢献状況		今後の取り組み及び同種事業への活用と課題
					上段:当初	上段:当初	上段:当初	上段:当初								
4	砂防	麻績村	おみ 麻績	土砂災害から下流の保 全人家、公共的施設等 を保全し、災害に強い 地域づくりを目指す。	砂防堰堤工 3基 H=12m L=92m H=14m L=50m H=12m L=50m	H14~H20	860,000	10.2	A	B	B	A	B	①ハードとソフト対策により、地域の安全確保と 土砂災害に対する地域住民の意識の向上、災 害に強い地域づくりを推進した。 ②環境への大きな被害はない。 ③適切に実施している。 ④事業に対する高い評価をいただいている。 ⑤行政機関や避難所の保全を図ることで災害に 強い地域づくりに貢献している。	近年、集中豪雨による土砂災害が多発する中、 同事業の必要性が、住民から認知されている。 今後も災害に強い地域づくり推進するため、 ハード・ソフト両面から土砂災害対策を進める必 要がある。	砂防課
					砂防堰堤工 3基 H=12m L=91.2m H=10m L=44m H=10.5m L=55m	H14~H20	582,100	15.1								
5	広域河川 改修	安曇野市	よろずしがわ 万水川 みなみほたか 南穂高	河川改修により、出水に よる農地や市街地にお ける浸水被害を防止し、 流域住民の安全・安心 を確保する。	掘削護岸工 L=7,387m	S43~	5,800,000	-	A	A	A	A	B	①河川の流下能力の向上により、流域住民の安 全・安心が図られた。 ②生物の多様性を維持するため多自然型護岸 工法を採用し自然環境に配慮している。	○今後は計画的に河川施設の点検を行い適正 な維持管理に努める。また、上流域を含む流域 全体として治水安全度を確保させるよう上流域 (黒沢川)の整備を推進する必要がある。	河川課
					掘削護岸工 L=7,400m	S43~H20	7,508,600	3.7								
6	道路改築	長野市	こく (国)406号 ももせ もすげ 百瀬~茂菅 バイパス	当区間は、人家連担、 幅員狭小、連続屈曲、 災害危険箇所等、本路 線の最大のネック箇所 となっているため、バイ パスを整備することによ り安全の確保、生活・産 業・観光等交通の円滑 化を図り、地域の発展 に寄与する。	道路改築工事 L=4,220m W=6.5(12.0) 橋梁 4橋 トンネル 2箇所	S52~H20	14,040,000	-	A	A	A	A	B	①バイパス整備により、走行速度の改善や時間 短縮効果が得られるとともに、区間内の災害危 険箇所(計6箇所)が解消されている。 ②集落内の大型車交通がバイパスに転換された ことにより、騒音や振動が低減し、生活環境の改 善に寄与している。	長野市街地から当バイパスまでの一部線形不 良区間の整備を望む声が寄せられており、整備 のあり方について地元区と検討を重ねている。	道路建設課
					道路改築工事 L=4,220m W=6.5(12.0) 橋梁 4橋 トンネル 2箇所	S52~H20	12,510,000	1.1								

(様式5) 事後評価総括表

番号	事業名	市町村名	ふりがな 箇所名	事業概要				評価結果					部(課)の取組方針		担当課	
				事業目的	事業内容	事業期間	全体事業費 (千円)	費用 対効果	① 事業 効果 の 発現 状況	② 自然 環境 等 の 変 化	③ 施 設 の 維 持 管 理 状 況	④ 地 域 住 民 等 の 評 価	⑤ 地 域 社 会 へ の 貢 献 状 況	【評価の視点】 ①事業効果の発現状況 (直接的効果、間接的効果) ②事業実施による 自然環境・生活環境等の変化 ③施設の維持管理状況 ④地域住民等の評価 ⑤事業の主たる目的以外での 地域社会への貢献状況		今後の取り組み及び同種事業への活用と課題
					上段:当初	上段:当初	上段:当初	上段:当初								
7	街路	千曲市	やしろ 屋代	旧国道線は旧更埴市の中心部に位置し、しなの鉄道屋代駅から県道屋代停車場線を経由して長野自動車道更埴インター及びあみずの里で知られる森地区へ至る重要な路線である。また、沿道には商店街や小学校、高等学校があり、朝夕の通勤・通学者も多いが、幅員が狭く歩道が未整備のため、大変危険な状況にある。このため、拡幅改良と歩道設置を行い、市街地の交通安全の向上及び商店街の活性化に寄与するものである。	拡幅改良工 L=440m	H13~H19	2,500,000	-	B	A	B	A	B	①(直接的効果)歩道と車道の分離により、歩行者・自転車の安全がはかれるとともに、円滑な車両交通の確保につながった。(間接的効果)お祭り等地区の行事の際は、改良された道路を使用し歩行者天国にするなど、広いスペースを有効に使うことができた。 ②沿道の住環境と自転車歩行者道の整備により、安全で安心なうつくしいまちづくりが推進された。植樹帯設置により、歩道の緑化が進み自然環境がよくなった。 ③植樹帯の管理について、地域の方とアダプトシステムの活用を検討中である。 ④せまく危険な道路が拡幅され歩道が設置されたことで安全かつ快適に歩けるようになり、大いに評価する。拡幅の計画から大変長い年月が過ぎ、世代交代もあり商店街も厳しい状況で、環境が整備されたことで活気ある地域が取り戻せると思われる。 ⑤広幅員の安全な歩道ができたため、散歩やジョギングをする人が見受けられる。 健康的に暮らせる住環境の整備が行えた。	市街地の道路整備においては、可能な限り無電柱化を図り、景観や防災の向上を図る必要がある。	都市・まちづくり課
					拡幅改良工 L=440m	H13~H22	1,720,537	1.7								
8	交通安全 施設等 整備	伊那市	としま 殿島	歩道を整備し、歩行者の安全確保を図る。	歩道設置工 L=600m、 W=2.5m	H17~H21	500,000	-	B	A	B	A	B	①歩道が確保され、児童が安全に通行できるようになった。また、歩道設置に伴う車道改良により、車のすれ違いに支障なく安全に通行できるようになった。 ②通学路に指定され、利用されるようになった。また、車が支障なく通行できるようになり、排出ガスが減少し、大気汚染が軽減された。 ④通学路が確保され、児童が安全に通行でき、非常に満足している。 ⑤地元が歩道沿いに花壇を設置しており、沿道美化に寄与している。	地元の評価は高く、今後も歩道設置は必要と考える。	道路管理課
					歩道設置工 L=600m、 W=2.5m	H17~H22	666,000	-								
9	畑地帯 総合 土地改良	安曇野市	くろさわきた 黒沢北	国・県営かんがい排水事業及び県営ほ場整備事業により一果樹生産団地となったが、20年を経て、かんがい施設の老朽化が進み、ポンプ施設、パイプライン(石綿管)の破損により維持管理に多大な費用と労力を要しているため補強改修し、維持管理費の節減、生産性の向上させ経営の安定を図る。	畑地かんがい A=301ha 加圧ポンプ15台、 電磁弁361ヶ、 制御ケーブル L=21,206m、 用水路L=3,766m	H11~H15	890,000	1.1	B	A	B	A	B	①事業効果の発現状況 ・散水、水張中の故障・事故対応が減り、また通常の操作時間も大幅に減り、管理労力と費用が大きく軽減された。 ・畑地かんがいのが正常に機能することで、遅霜期の防霜対策、適時の散水による果樹の品質向上が図られている。	・昭和40年代から平成2年までに整備された基盤のうち、本事業で手当てされていない機場建屋や残分の管水路なども今後更新時期を迎えるため、計画的な改修・補強に努め、施設を健全な状態で次期担い手に引き継ぐ必要がある。 ・多面的機能に着目し、農業者を含む地域ぐるみでの農業生産基盤の維持保全管理活動の取組が望まれる。	農地整備課
					畑地かんがい A=296ha 加圧ポンプ15台、 電磁弁358ヶ、 制御ケーブル L=21,946m、 用水路L=3,829m	H11~H20	820,000	1.2								